

令和7年度

第2回

自己評価委員会報告書

於：令和8年2月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

第2回 自己評価委員会報告書

日 時：令和8年 2月17日（火） 10：30～13：30

場 所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者名：(学園) 嶋村理事長・百瀬副理事長・桐山事務局長

(学校) 小原校長・小口教務主任

嶋村理事長挨拶

自己評価の目的を理解し、より良い学校となるよう、改善をしながら高みを目指して行ってほしい。

【審議検討事項】

1. 令和7年度自己点検・自己評価について

令和7年度報告として、教育理念の2項目・学校運営の3項目・教育活動の4項目・学修成果の3項目・学生支援4項目・教育環境の1項目・学生募集と受け入れ2項目・法令等の順守1項目・社会貢献の1項目について、評価4について継続的に向上した部分の報告と今後の対策について細かく説明を行い、対策方法等について意見交換を行った。

評価4を、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

各項目一つずつ細かく評価できていることが、次へと繋がっていくのでは。今後第三者評価という形式になった場合においても、大丈夫な体制が整っているのでは。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

- ・基準1：学校の特色づくりに重点を置き、学校の特色を強めていきたい。管理システムの構築。
- ・基準2：人材確保が今後の課題である。自己評価で振り返りを実施しながら、新人教育プログラムの構築が必要である。マニュアル化をし、実践に即した形式にしていく。
- ・基準3：職員へのアンケート結果を基により良い質の高い教育を目指していく。そのために、職員のスキルアップが必要である。
資格取得に向け、手厚い指導が良い結果につながった。
自己評価の評価事項を変更しても良いのでは・・・今後、検討していく。
- ・基準4：学生同士が教え合う文化が出来ている。その結果が、各検定・国家試験の好結果につながった
休学・退学者については、担任のみでなく学校全体で指導するフォロー体制が出来ている。
- ・基準5：行事を工夫し、クラス学年全体がまとまっているので、継続していきたい。
- ・基準6：問題なし
- ・基準7：学生募集の厳しさを感じている。より一層工夫し現状より増加していくよう方策を工夫し
あきらめずに学校の魅力を伝え、学生募集に力を入れていく
進路ガイダンスの重要性を再確認し、より内容を深めガイダンスの機会を活かして行ってほしい。次へつながる広報活動をしていくべきである。
本校卒業生をもっと、学生募集に活躍するべきでは・・・実施方法を検討していく。
小中学生対象の職場体験・お仕事体験等・ヘアフェスティバルが重要である。
- ・基準9：第3者評価実施時期については、今後検討していきたい。
- ・基準10：問題なし

2. 令和7年重点目標について

○令和7年度重点目標の実施状況の報告

重点目標① 授業計画に沿った準備・指導・振り返りの改善

○本時の授業に合わせた「授業準備」を意識して、振り返りからの課題を明確にした解りやすい授業展開を工夫する。

○「5分前行動」として、早めの取り組みを日常的に意識する。

- ・教師自己評価の結果からも「5分前行動」の評価が低く、引き続き行動変容が求められる課題である。
- ・教師間の連携については、職員の人員に限られる現状で意思疎通が保たれている。

重点目標② 教師・講師・学生会との連携強化

○嘱託講師との連携を強化して、低位生への手立てを工夫する。

○嘱託講師の授業内容、授業計画を把握して、自らも学ぶ姿勢で関わっていく。

○学生会やルーム長を活用した、当事者意識を喚起する授業姿勢の改善

- ・合同打ち合わせ会において、学年ごとの情報共有が保たれ課題を共有されている。

重点目標③ 教師と学生との距離感を意識する

○「名字」での呼名を職員間で統一する。馴れ合いにならない節度を意識した言動によって、整然としたクラス運営・生活習慣を整える。

○学年主任を中心として、生徒の現状把握を共有したチームティーチングを意識すると共に、学生自身の当事者意識を促すコーチングを実践する。

- ・松本校全体の風土として、学生との距離感の近さが強みとしても認められている現状もある。引き続き、強みとしていくためにも意識的に距離感を保つ「けじめ」のある対応が必要である。学生との距離感については、今後も課題として取り組んでいく。

○令和8年度 重点目標

重点目標① 意識を前に向けて、5分前行動の実践

重点目標② 嘱託講師、外部講師との連携強化

重点目標③ 教師と学生との距離感を意識する

3. 学校関係者評価委員会より報告

・令和7年度自己評価中間報告

・令和7年度重点目標の中間報告・課題の説明

重点目標① 授業計画に沿った準備・指導・振り返りの改善

重点目標② 教師・講師・学生会との連携強化

重点目標③ 教師と学生との距離感を意識する

・学校関係者評価委員より提言 各項目・重点目標について

以上が、学校関係者評価委員会にて検討した事項の報告

学校関係者評価委員の報告が、第三者評価になっていくので、今後活かしていく。

4. 教育課程編成委員会より報告

- ・令和7年度自己評価中間報告
- ・令和7年度重点目標の中間報告・課題の説明
- ・令和7年度学校関係評価委員会報告
- ・2024年度就職状況
- ・2025年度職業実践専門課程 選択科目

以上が、教育課程編成委員会にて検討した事項の報告

5. 次回 第1回自己評価委員会 令和8年7月15日(水) 10:30～(松本校)

令和8年度 自己評価中間報告

令和8年度 重点目標中間報告